

(別紙－２－②)

令和7年4月15日

倫理委員会委員長
山西 千晶 様

研究倫理審査申請書

下記の内容の研究および発表を取り組むために、倫理委員会での審査をお願いいたします。

【受付番号 R7-3 】

申請日	令和7年4月15日	
申請者 (実施責任者)	氏名	津田 純子 
	所属	感染対策委員会, ICT
	職名	感染対策委員長 医師
所属長	氏名	山西 千晶 
研究テーマ	別紙添付	
発表先	学会報告	(学会名) (開催日) (発表セッション)
	誌上発表	単著・共著 (出版誌名) (論文タイトル)
その他	J-SIPHEの登録申請の許可をお願い致します(別紙添付) 抗菌薬使用量や細菌検査データ、医療関連感染症等のサーベイランスデータを他施設・病院と比較することで感染対策や抗菌薬適正使用を向上させることを目的とします オプトアウト同意した方のみデータ利用します。	

感染対策連携共通プラットフォーム

J-SIPHE

Japan Surveillance for Infection Prevention and Healthcare
Epidemiology

概要説明

(2024年10月8日改訂)

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
厚生労働省委託事業
AMR臨床リファレンスセンター

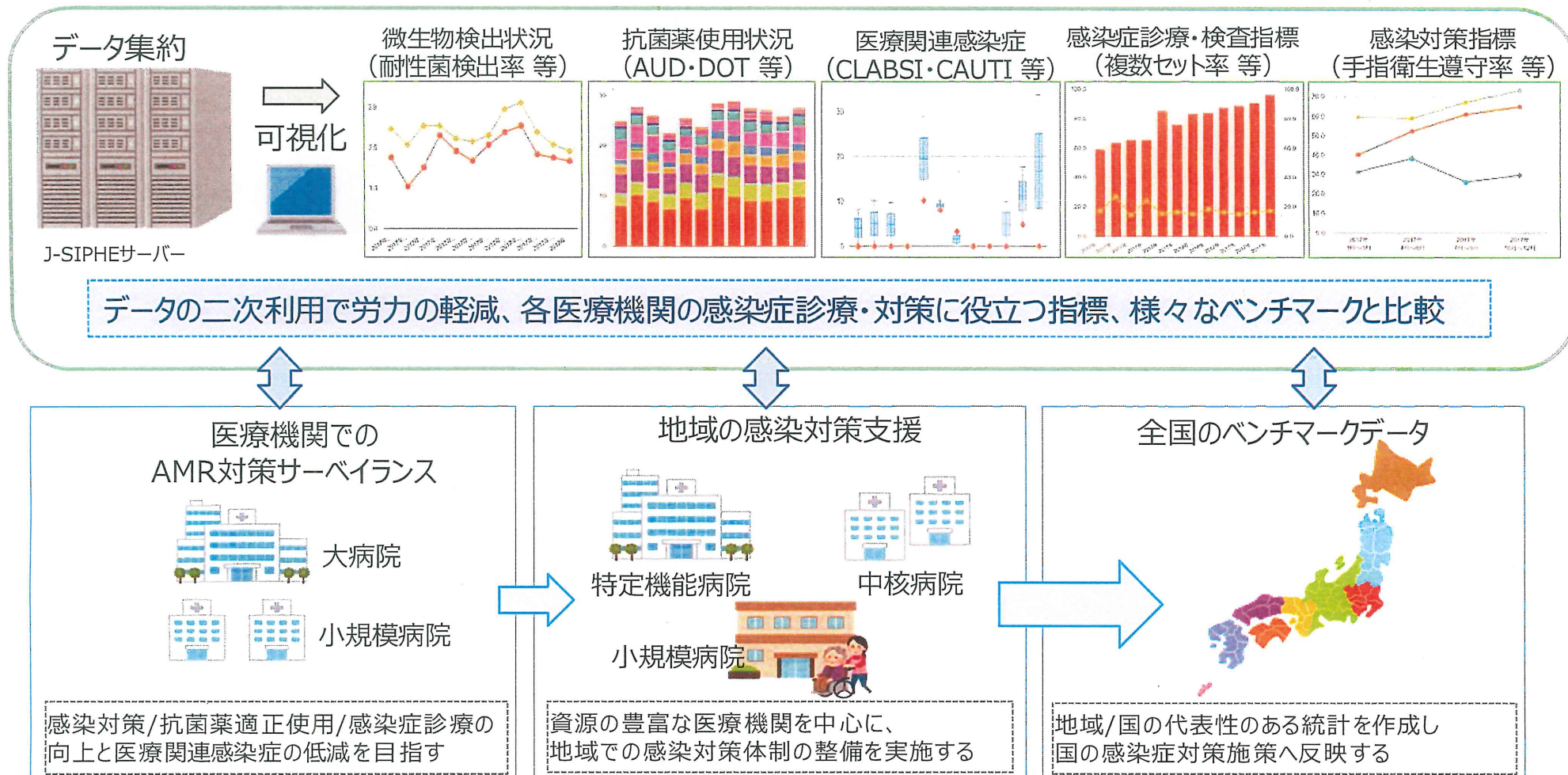
1.本事業について～背景・事業主～

- 日本政府は、2016年に薬剤耐性（AMR）対策アクションプランを策定しました。同プランでは普及啓発・教育、動向調査・監視（薬剤耐性や抗微生物剤の使用量）、感染予防・管理、抗微生物剤の適正使用等の各分野に関し取り組みが求められています。感染予防・管理の分野では、医療・介護における感染予防・管理と地域連携の推進も掲げられています。
- このような背景を受け、厚生労働省委託事業AMR臨床リファレンスセンターが主体となり、AMR対策に利活用できるシステムとして、感染対策連携共通プラットフォーム（J-SIPHE）の開発・運営が始まりました。
- 本システムは、連携する地域の施設同士での利活用およびAMR対策に関するベンチマークの構築を目的としています。各施設が登録したデータは、指標として様々な形で図表化されます。

2.特徴

- 入院病床のある保険医療機関が参加するWEBシステムです。
- 感染症診療状況、感染対策や抗菌薬適正使用への取り組み、医療関連感染の発生状況、主要な細菌や薬剤耐性菌の発生状況及びそれらによる血流感染の発生状況、抗菌薬の使用状況等に関する5つの項目のうち1つ以上の項目を任意に選択することができます。
- 登録データはシステム内で自動集計・計算され、図表として出力することができるため、日頃のサーベイランスの補助を行うことができます。
- 複数施設が参加するグループを作成することができるため、地域連携カンファレンス等でご活用いただけます。
- 多くの施設が参加しているため、多施設平均値などとも比較することができます。
- 患者の個人情報はありません。
- 日本のAMR対策の指標のベンチマーク作成に役立てることができます。

J-SIPHE 感染対策連携共通プラットフォーム



- 各参加施設がデータを登録すると、図表として閲覧することが可能となります。
- 登録データや図表化された還元情報は、地域ネットワークによるAMR対策の推進にも利活用いただけます。